

「ヘルペス・リウマチ手記」匿名希望 56歳

2014年12月9日

何の前触れもなく、強烈な痛みで襲われたのは1年前の夏でした。初めは、五十肩かと思いき、家にある痛み止めを飲み、我慢しながら仕事してました。でも、痛み止めも効かず、それどころかひどくなる痛みで耐えきれず、近くの整形外科に駆け込みました。初めは診断も下りず、血液検査をしていただき、とりあえず痛み止めを処方されました。痛みを我慢しながら数日過ごし、血液検査の結果が出る日に、病院に行きました。先生は、リウマチの反応が高い事から関節リウマチと診断されました。即、ステロイドの飲み薬と、塗り薬を出されました。元来、健康には自信があった私は、薬を飲むのに抵抗がありました。ましてや、ステロイド。非常に嫌でした。でも、それしかないと言われると、この吐きそうな痛みから逃れる事ができない・・・選択肢はなく、飲むしかありませんでした。でも、きっと、他にも治療法はある、何かある。と、ネットで探したりしてました。そんな時、心配してくれていた私の友達が、高槻に漢方の病院があるから調べてみたら？と、教えてくれました。すぐ、ネットで調べ、松本病院を知る事になったのです。

初めて診察していただいた時、強烈なキャラクターの松本院長先生に面食らいました。そして、つぎにびっくりしたのがヘルペスじゃないかと言われた事です。呆気にとられる私が診察室を出る時に院長先生が「治らない病気はないから。」と、言われたのです。またまた私は驚きました。そんな事を言われるお医者様はいません。治らないと他の病院で言われ、一般的にも一生付き合わなければならない病と言われてます。これは、半ば諦めかけていた私には、とても嬉しい驚きであり、力と望みが沸いてくる言葉でした。健康だった自分が病にかかり、初めてわかった、病気を持つ人の気持ちでした。これから治療に向かう者にとって、とても心強く励みになりました。お世話になって、まだ4ヶ月目ですが、おかげさまで煎じ薬がよく効き、痛みも殆どなく日常生活を過ごしております。完治を目指していきたいと思っております。よろしく願いいたします。